

リーダーとなるために 管理職像などで意見交換



（社）建設コンサル
タンス協会九州支部は25
日、第7回女性技術者交流会を開催した。今回のテーマは「STEPUP！女性リーダーとなるために」。2部構成で行われ、後半の部の対面形式の意見交換会で

日、第7回女性技術者交流会を開催した。今回のテーマは「STEPUP！女性リーダーとなるために」。2部構成で行われ、後半の部の対面形式の意見交換会で

トやデメリット、女性管理職の理想像などについて議論を交わした。交流会は、建コン協九州支部の「女性技術者委員会」が企画し、今年度で7回目。前半の部の基調講演は対面とWEBの併用で行われた。

開会のあいさつで、女性技術者委員会の峯瀬明日香委員長（㈱建設技術研究所）は、今回の交流会に際して行ったアンケート調査を踏まえ、チャンスがあれば管理者になりたいという声もあれば、不安に感じる意見もあったことなどを紹介。その上で「本日の基調講演や交流会を通して、管理職に対する不安を払ってもらい、自分もやりたいという気持ちになってもらえれば」と話した。

前半は、オングリットホールディングス(株)の森川春菜代表取締役が「課題発見力とダイバーシティマネジメント」をテーマにした講演を行った。同社は平成30年、専業主婦であった森川氏が、シングルマザーの働ける場をつくりたいと等々の思いから起業。社員一人一人の価値観を大切にしながらも、社員研修などを通して、個人の成長を引き出し、それを会社の成長につなげていく同社の取り組み等を紹介した。

後半は「女性リーダーとなるために」をテーマに、参加者が5つのグループに分かれて、意見を交換。管理職になることのメリットやデメリット、目指すべき上司の理想像などについて語り合った。

また各グループの代表者が、議論の中で挙げられたさまざまな意見を発表。「チャンスがあればリーダーになりたい」という前向きな考えを持つ参加者も多かったようだ

が、「子育てやプライベートとの両立が難しいのでは」「残業代が付かなくなる」「仕事ばかりで大変そう」などのデメリットを指摘する声も少なくなかった。

このほか、女性の管理職が少ない現状を踏ま

え、「ロールモデルが少ないので、女性のリーダー像というものが想像しにくい」との意見や、「女性リーダーが生まれやすい社会の変化を求め、ただでなく、自分が変わる努力も必要かもしれない」との声もあった。